

# Continue

2022 SPRING

vol.23

YUTACOLOGY'S communication press

特集

## 脱炭素(低炭素)化に お悩みではありませんか？

—ユタコロジーがお手伝いします—



# TOP MESSAGE

YUTACOLOGY

## 脱炭素社会への 挑戦



ユタコロジーは、2020年にSDGs宣言を行い、2021年SBTを取得。ビルメンテナンスだからできることに挑戦し続けて参りました。

「あなたは脱炭素社会とどう向き合っていくのか」という問いに対し、【快適環境創造×環境改善の見える化×SDGsでつながる】を掲げるビルメンテナンス会社としてどう応え、何が出来るのか。弊社は、2020年以降、SDGs宣言、SBT取得等の活動の中で、足元からできることに挑戦し続けております。

先日、弊社の5S会議で「エアコンの温度設定規定やコロナ対策での窓の開閉も良いが、反面それはオフィス内の人たちの快適さとトレードオフの関係にもなる。もっと言えば、既にやれることはほぼやっているのではないか。更にここから進化し、その中での目標数値、或いは達成のための適切な運用の正解は何だろうか」という議論がありました。

一般的に脱炭素や省エネ対応として、車両や設備の入れ替え、設備運用の改善など、幅広く且つ日々の運用の積み重ねから長期的な時間軸での効率化まで、対策の幅があります。

ビルメンテナンス業（厚生労働省）が推奨する建物の脱炭素（省エネ）への具体的対策は、エコチューニングの手法によるもので、その対策項目は、全部で366種類あります。

弊社からご提案させていただくのですが、同時に、そこに居る人たちに寄り添う【ユタコロジーらしさ】としてのご提案ができるよう引き続き努力して参りますので、脱炭素化に向けた取り組みをお考えの際は、是非、お声がけいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 酒井秀京

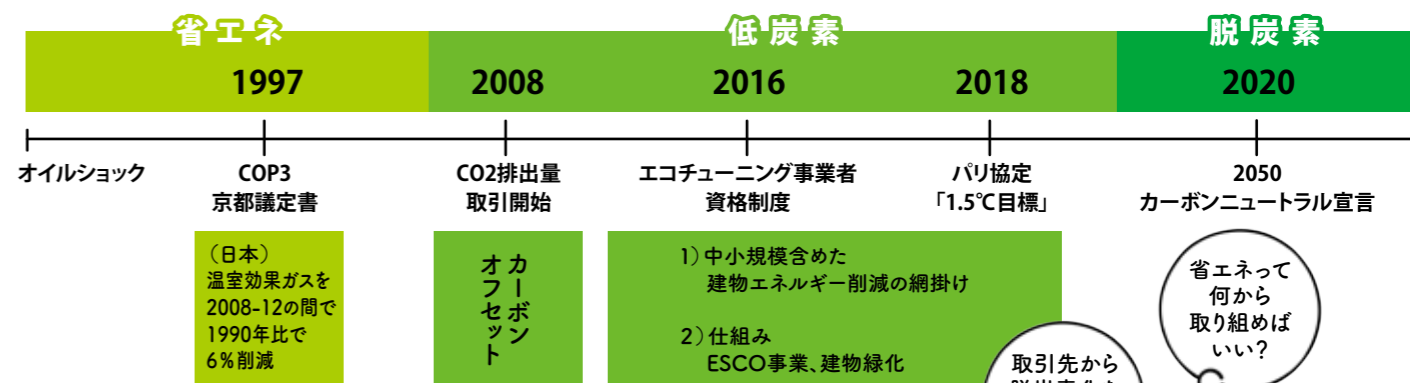
特集

# 脱炭素（低炭素）化にお悩みではありませんか？

～ユタコロジーがお手伝いします～

2020年、日本は2050年までの「カーボンニュートラル実現」という目標を掲げました。オイルショックからの省エネ時代から低炭素時代を経て、脱炭素時代へ。そのためいま、企業は脱炭素（低炭素）化へ一刻も早く取り組むことが求められています。

ユタコロジーはビルメンテナンスの歴史に基づく環境改善のプロフェッショナルとして、またSDGs企業として、お客様の脱炭素化をサポートします。



エコチューニングで脱炭素化とコスト削減を同時に  
環境省の登録商標「エコチューニング®」。

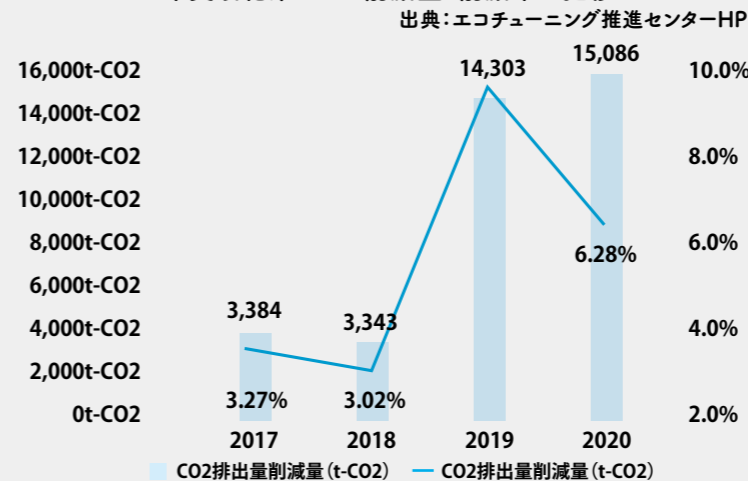
エコチューニングとは脱炭素（低炭素）社会の実現に向けて、業務用等の建築物から排出される温室効果ガスを削減するため、建築物の快適性や生産性を確保しながら、設備機器・システムの適切な運用改善等を行うことを指します。従来の施設・設備管理、点検、保守に加えて、建物のライフサイクルマネジメント（企画～修繕～改築～解体）を通してエコチューニングを行うことで、脱炭素化だけでなく大幅なコスト削減にもつながる有益性の高い取り組みです。



エコチューニング認定事業者登録	エコチューニング実績	削減CO2量	平均排出削減率
131事業者 (2021年度)	205棟 (2017～2020年 4年間累積)	38,303トン (2017～2020年 4年間累積)	6.3%

出典：エコチューニング推進センターHP

### 2017-2020年実践結果 CO2削減量・削減率の推移



Keyword ①

#### カーボンニュートラル

温室効果ガス排出量と、植林や森林による吸収量を均衡させること。世界120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」を掲げています。

Keyword ②

#### 温室効果ガス

大気中に含まれる二酸化炭素やメタンなどのガスの総称 ※気象庁hp出典の円グラフ「温室効果ガスの種類」

Keyword ③

#### カーボンオフセット

企業や個人がCO2削減に取り組む際どうしても削減できない排出分を、「他の場所」で埋め合わせをすること

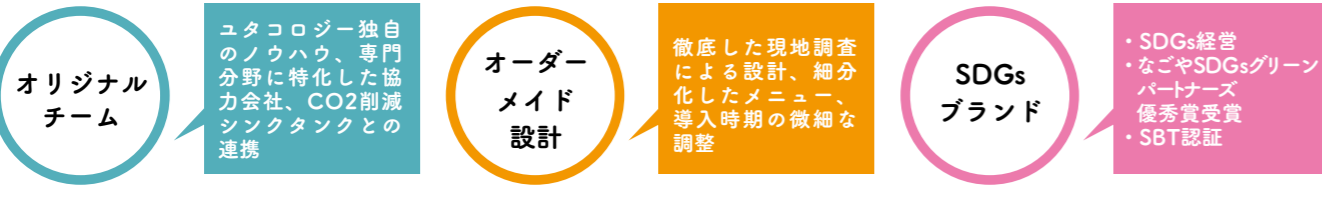
脱炭素(低炭素)化にお悩みではありませんか?

“エコチューニング技術者”  
それは脱炭素のスペシャリストです。

脱炭素化は環境の改善から。  
身近なところから始められます!

ユタコロジーには、代表の酒井をはじめ3名の第一種エコチューニング技術者がいます。第一種エコチューニング技術者とは、建物のエネルギー消費実態や特性を把握し、エコチューニング計画を策定、PDCAサイクルを実践。指導の上、省エネを実現するスペシャリストです。ユタコロジーのエコチューニングはお客様に合わせたオーダーメイド設計。現地調査を行った上で、ご予算や導入時期などご希望に沿ったプランをご提案します。withコロナ時代ならではのメニュー(除菌、消毒、換気機能、非接触アイテムや感染防止グッズの販売等)と合わせてのご提案も可能です。

ユタコロジーのエコチューニング



**業務部 祖父江和貴**  
(第一種エコチューニング技術者)

エアコンや換気扇のフィルター汚れなど、省エネを阻害する原因は普段見えていない部分にも隠れています。空気環境測定でCO2濃度が基準の1000ppmを超えている場合、換気扇が稼働していない、壊れていた、など、日頃気づかないトラブルが発見されることが多くあります。

**FM事業部 紙谷直樹**  
(第一種エコチューニング技術者)

LEDへの切り替えは節電につながります。蛍光灯に比べて取り換え頻度が圧倒的に少なく、熱を持ちません。屋内すべてを一度にLED化にせず、ご予算に合わせたプランで徐々に進めることもできます。まずはお見積りから、お気軽にご相談ください。

エネルギー消費の可視化手法としてのBEMS

BEMS(Building Energy Management System)とは「ビルエネルギー管理システム」のこと。建物で使用されるエネルギー消費量を削減する仕組みを指します。まず建物で消費されるエネルギーを把握する(見える化する)ことからスタートしますが、消費エネルギー総量の確認だけでは削減への回答には至りません。機器の個別のエネルギー消費量、室内の環境情報(在室人数、気温、CO2濃度等)を把握することで、効率的かつ確かな対策の実施が可能に。IoT技術の普及により、既存の設備に対しても、センサー類の設置でより詳細な情報を集めることができます。BEMSは、無理のない省エネ実現におすすめの手法と言えます。

人探知センサー	人の在室を把握して無駄を把握
CO2センサー	換気状況や人の密集度を把握
室温、湿度センサー	空調設備の動作状況を把握
電力量計	空調機や照明等のエネルギー消費を把握

まずは日頃の環境を見直し、改善することからスタートしましょう。現状調査⇒施策のご提案⇒実施⇒検証⇒改善というPDCAサイクルに取り組むことで、省エネ(CO2削減)とコスト削減を同時に実現できる事例をご紹介します。

【空調設備をカイゼン】

CASE.01 空気の流れを調整

デジタルまたはアナログ測定で風の流れを確認。空調の最適化を図ります。電気使用量を最小化させた上で、ご要望によりCO2排出量をゼロにするためのご提案(カーボンオフセット、再生可能エネルギーへの切り替え等)をします。



CASE.02 フィルターの汚れ清掃

一般には1~3ヵ月に1度の清掃が推奨されています。エアコン、換気扇、全熱交換器のフィルターは最低でも年に1~2度は清掃し、余分な電力を使わずに性能を十分に発揮できる状態を保つことが必要です。外気を取り入れる際虫や異物が入りやすく、日頃目に触れないフィルターは意外に汚れています。



CASE.03 遮熱シールドの設置

遮熱シールドを設置することで室外機の温度を下げ、消費電力を抑えることができます(強風、台風時にシールドが飛ばないように適切な設置が必要)。室外機周辺の障害物を取り除くことや、室外機への散水も効果的です。



CASE.04 ダクト配管等の保温

配管の保温機能が失われると熱交換器で余分な電力を使用してしまいます。経年劣化等で断熱材が破損していれば、取り換えることで熱の放散を抑えます。



CASE.05 外気導入適正化

「ビル管理法」では、室内のCO2濃度を1000ppm以下と規定しています。1500ppm、2500ppmと数値が上がると、眠気や不快感、健康被害につながる恐れがあるため、外気取入量と排気量のバランスを監視します。



空気が乾燥する季節は、加湿器による加湿もおすすめしています

# 脱炭素(低炭素)化にお悩みではありませんか?

【照明設備をカイゼン!】

CO2削減  
お客様事例

## 照明の間引き・

### 人感センサーによる点灯

#### CASE.01

トイレや地下室等人のいる頻度が少ないフロアは、人の動きを感知して点灯する「人感センサー」の導入を。複数の人が利用する建物は照明の「点けっぱなし」「消し忘れ」が多いため、人感センサーで無駄な電力を削減できます。



## 照明のLED化

#### CASE.02

白熱電球、蛍光灯からLED照明へ切り替えることで、電力、電気料金を約50%削減できた例も。LED化をご検討の場合、まずはユタコロジーへご相談ください。ご予算やご希望を伺いながら最適なご提案で省エネをサポートします。



【湯沸室・トイレ・その他をカイゼン!】

## センサー式手洗い水栓

#### CASE.01

ウイルス感染予防の観点からも、非接触(タッチレス)の水栓への切り替えをおすすめしています。



## 自閉式トイレ

#### CASE.02

トイレ便座のふたを自閉式に変更することで、暖房便座の放熱による電力消費を抑えることができます。



## シャッターや扉の閉鎖

#### CASE.01

シャッターや扉を閉鎖することで、使用しない部屋、廊下等への空気の流れを遮り、冷暖房の効率化を図ります。



## 窓に熱反射ガラス・フィルム、

### ペアガラス等採用

#### CASE.02

窓にフィルムを貼ることで直射日光を遮り、断熱、保温の効果を高めます。ペアガラスは結露防止にもつながります。



ユタコロジーは、省エネ(CO2削減)と新型コロナウイルス感染症対策を並行して実現する環境改善をサポートいたします。

お気軽にご相談、お問い合わせください。

ユタコロジー代表 ☎ 052-851-0077

※メールフォームからお問い合わせいただけます



お問い合わせ  
メールフォーム

# こんな時にもユタコロジー 御社の総務業務を代行します。

「雑務に追われ重要な仕事に手が付けられない」「残業が減らない」  
「この業務、誰か代わってくれないだろうか…」 そんな時はユタコロジーにご相談ください。  
頻度の少ない業務は内部より外部へ、アウトソーシングで業務の効率化を!

代行例  
1

取引先、元請企業から脱炭素、SDGsへの取り組みを求められている

⇒SDGsに関連したトータルサポートを行います

他の模範となるSDGsの取り組みを実施する企業として、ユタコロジーは「なごやSDGsグリーンパートナーズ優秀賞」を受賞しています。SDGs経営のスタートアップから実践、発信について実例や体験を通してレクチャーし、全社浸透をお手伝いします。

### 【SDGsサポートステップ】

- ①SDGs導入の入口相談
- ②社内説明、社員への啓発、勉強会の実施
- ③実例を踏まえた実践相談
- ④SDGsおよび環境レポートの制作、発行



代行例  
2

総会、会議、イベントを大会場で開催する

⇒椅子を並べる、撤収するなど、  
会場設営を行います



大会場の設営は人手と労力、時間がかかるもの。会場探し、会場設営は、快適な空間づくりのプロフェッショナルにおまかせください。進行内容の企画をはじめ、感染予防対策を考慮した設営をご提案します。

代行例  
3

大量に備品の購入が必要になった

⇒ご予算に合わせて最適な商品を  
選定、調達します

10月、道交法改正により白ナンバー車も運転者のアルコールチェックが義務化に。アルコールチェッカーの調達のご依頼が増えています。まとまった量の備品調達はご相談ください。



オフィスのお困りごとを  
ぜひお聞かせください。

ユタコロジー 総務部  
☎ 052-851-0077

総務部 久米明日樹

## 脱炭素チャレンジカップ2022審査員を務めました



2月15日『脱炭素チャレンジカップ2022』が東京・伊藤謝恩ホールで開催され、ユタコロジーは協賛企業として審査員を務めました。

脱炭素社会づくり活動や地球温暖化防止に取り組む団体がエントリーする中、ユタコロジー最優秀チャレンジ賞は東京都の「バイオガス出前授業の会」に決定。〴〵生ごみからエネルギーをつくり聖火を灯そう、をテーマに小中学校等で出前授業を行う活動が評価されました。

## 愛知県SDGs登録制度に登録

「愛知県SDGs登録制度」は、SDGs達成に向けた企業・団体の取り組みを見る化し、SDGsの具体的な取り組みを普及させる目的で創設された制度。ユタコロジーは経済、社会、環境の3つの観点から目指すゴールと数値目標を登録しています。



### 経済:ゴール7

- 社屋電力再生可能エネルギー化、照明のLED化⇒実施済
- 社用車ハイブリッド化 ⇒26台中10台切り替え済み。年1〜2台目標。



### 経済:ゴール5, 8

- 女性、シニア、外国籍の方の積極採用⇒正社員の女性比率2024年30%



### 経済:ゴール12, 14, 15

- 使用済ユニフォーム、トイレタリー商品のリサイクル・リユース⇒全量を維持

## 社内報でSDGs啓発の促進

ユタコロジーの社内報「ゆたかのたより」。2022年2月号より、「ユタコロジー×SDGs」のコラムコーナーを連載しています。

「SDGsって何?」という解説にはじまり、ユタコロジーの取り組みをターゲットごとに紹介するなど、社員、クリーンクルーをはじめユタコロジーに関わる全スタッフがSDGsへの理解をより深めることを目的としています。



YUTACOLOGY

## SDGs宣言

ユタコロジーは2020年4月1日、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）に賛同し、持続可能な社会の実現に努めることを宣言いたしました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

